

みらいく新聞

2021年10月
第十二号

発行元：
信州子育てみらいネット
広報係

年齢別保育共有プロジェクト

今年度から新たな取り組みとして、『年齢別保育共有プロジェクト』を開催していきます。2歳児の第1回目は9月に開催され、各園の2歳児クラス担任が園に集まり、情報共有や意見交換を行いました。※新型コロナウイルスの警戒レベルが上がったため、今回はクラスの保育見学は行わず、話し合いの時間を設けました。

◆2歳児クラス開催場所・みらいく保育園

開催園クラス担任の先生へインタビュー
それぞれの先生が保育の課題や悩みに感じていることについて、意見交換やアイデアを出し合いました。同じ学年を持つ先生方の思いを聞けたことで、保育の悩みを持っているのは自分一人だけではないこと、みんな悩みながらも「より良い保育」を目指

みらいく『保育園事業』

有志の大学生さんが視察



保育園事業のフィールドワークのため、有志の大学生さん数名がみらいくの保育園を視察に来られました。園舎の見学と、山岸代表理事から「法人の成り立ち」や「保育事業に力を入れる思い」などのお話がありました。視察後、学生さんお二人から感想をいただきました。

この度は訪問させていただきありがとうございました！私は現在大学生たちと中高生向きにSDGsを通じたキャリア教育に取り組んでいますが、『みらいく』さんでは対象の子供たちだけでなく、働く人育てる人、地域の方など、多方面に目を向け、それぞれが過ごしやすい環境を整えられるよう動き続けている姿が印象的でした。また、活動の対象にした

して奮闘していることを知ることができました。自分の相談に対して具体的なアドバイスもいただき、自分の保育の引き出しが増えたように感じます。ぜひ今後の保育で実践していきたいです。

【参加者の声】

◎同じ年齢のクラスを持つ先生方と普段の保育の悩みを話し合う中で、共感できることや今後参考にしたいことも沢山あり、保育に対する選択肢が増える機会となりました。また、保育園の環境はそれぞれ違いますが、雨の日の遊びについて学ぶことができたため、今後の保育に活かしながら、子どもたちと楽しみたいと思います。
◎2歳児ならではの保育の悩みや雨の日の活動内容など、些細な疑問も他園の保育士同士で話し合うことができ、大変有意義で、実りのある時間となりました。他園の保育方法や援助方法等も参考にしながら、これからより良い保育を展開していきたいと思えます。

い範囲を明確に定めることで、自分が設定した範囲に注力するというスタイルも印象的でした。

働き手の幸せも考えつつ、互いに真つ直ぐ本音ベースで対話をする『みらいく』さんが素敵でした。私たちのゼミでもお互いに自己開示することで信頼関係が深め、本音ベースで議論して向き合っていくことをとても大切にしています。今後教育活動を広げる予定で、地方開催のサマープログラムの設計も行なっていくことと考えているので、ぜひその際にも中高生たちの学びの場として関わらせていただければありがたいです！

この度は、保育園設立に至るまでの想いを聞かせていただきありがとうございます。僕は、小学校教育を地域交流に繋げる活動に関わっているのですが、地域による子育てを作ろうとしている山岸さんの考えがとても勉強になりました。特に、子育てを軸に人の流れを作り、移住への発展性を含んだモデルは僕にとって地域活性化の新たな見地であり、年齢層は違いますが小学校教育において活用させていただきたいと思えます。また、実際に保育園にお伺いした際、職員の方々にたくさんの笑顔があり、地域という概念だけでなく、そこに住む1人1人を尊重されていることが感じられ、『みらいく』さんの築いてきた環境がとても魅力的でした。今回頂いた活力を糧に、山岸さんに誇れるよう地域と共に頑張っていきます！

食育活動紹介

8月に行った食育活動について、各園の給食の先生にインタビューさせていただきました。

千切り野菜のサラダ・ドレッシング作り

2歳児さんに千切りピーラーを使って、大根・にんじん・きゅうりを千切りにしてもらいました。



ふしぎノ野菜が細長くなったよ！

モロヘイヤ摘み

モロヘイヤの葉を一枚一枚摘んだり、何枚も重ねて摘んだり、みんな一生懸命お手伝いしてくれました。



どんな風に葉がついているのかな？



自分で作った格別のお味♪

おはぎ作り

ご飯を袋に入れ、ぎゅっぎゅっ潰し、2歳児さんは丸める活動も行いました。活動中から食べたい様子：袋の上からパクっとしてしまった子もいました。おはぎは午後おやつに食べ、嬉しそうなお表情でした♪(中野みらいく保育園)

とつもんじの皮むき

活動では、信濃町産朝採れのとつもんじの皮むきを行いました。活動を行った園のうち2園の様子をご紹介します。



とっても美味しそう！早く食べたーい！



初めて見る皮付きとつもんじに最初は固まっていた子もむき始めると夢中になりました。むき終わるとそのままかぶりつく姿や「早く食べたーい！」という声も。おやつはとっても美味しそうに食べてくれました！(みらいく県町)

カレー作りのお手伝い

みらいく保育園で栽培したじゃがいもを2歳児さんに収穫してもらい、1歳児さんに洗ってもらいました！その後2歳児さんには玉ねぎの皮むきと人参の型抜きを手伝ってもらいました。(みらいく保育園)



美味しいカレー♪お手伝い頑張るぞ！

ピーマンの種取り・ちぎる

みんなの目の前でピーマンを切り中身を観察してから種をとってもらいました。種を一粒ずつとっている子やワタごととっている子など個性があり楽しかったです。普段はピーマンが苦手な子も食べてくれていました！(みらいく小布施)

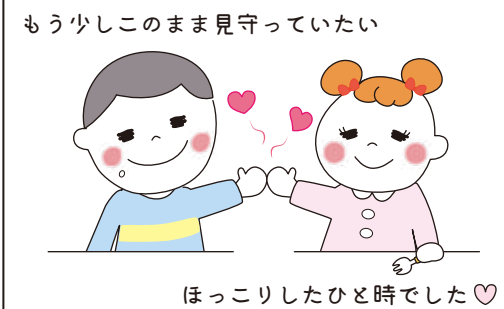
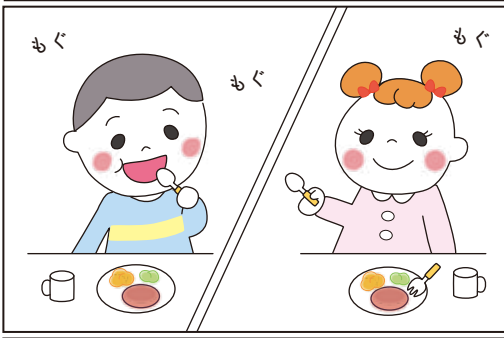


ピーマンの中身はこうなってるんだ！



ピーマンの断面を観察したり、匂いを嗅いだり、ちぎったり、型抜きをしたりと色々な感覚を使って活動しました。苦手な子も多い食材の代表ですが、食育をきっかけに口に入れようと言う姿が見られるようになりました♪(中野みらいく保育園)

なかよしな2人



ソーシャルディスタンスな世の中なんだけどなあ...

もう少しこのまま見守っていたい

ほっこりしたひと時でした♡

行事紹介 *夏祭り*

行事計画担当の先生にインタビューさせていただきました♪

みらいく保育園 ●午前活動



午前の活動は製作屋台屋さんの「やきそば」「かき氷」「わたあめ」作りと、プールに水風船を入れた水遊びを楽しみました。子ども達がパツと見て、いかに「お祭り」を感じてもらえるか」にこだわり、装飾や音楽、雰囲気づくりに力を入れました。製作では、あえて作る手順を決めず、子ども達のやりたいことを自由に、好きなものを作りたいメニューに子ども達が喜んでいました。給食の屋台は、別日の2歳児さんの活動でハンドペイントの色づけをしたもので、思い入れのある作品になりました。全体を通して子ども達から予想以上の反応が見られ、とても積極的に活動に入ってくれました。「やらせる」ではなく「やりたい」保育という、自分の目指す保育のかたちが見えたのではと感じています。今後の保育にも繋げていきたいです。

この日の給食はお祭りごっこ献立！お祭りらしいメニューに子ども達が喜んでいました。給食の屋台は、別日の2歳児さんの活動でハンドペイントの色づけをしたもので、思い入れのある作品になりました。全体を通して子ども達から予想以上の反応が見られ、とても積極的に活動に入ってくれました。「やらせる」ではなく「やりたい」保育という、自分の目指す保育のかたちが見えたのではと感じています。今後の保育にも繋げていきたいです。

●夕方の部 夏祭り

主に園児さんと保護者の方にご参加いただき、消毒の徹底やソーシャルディスタンスなど十分に気を付け、短時間での開催となりました。

園の外の会場では、宝探しゲーム、製作コーナー、ヨーヨー釣り、販売コーナー、保育室ではワニさんばっくんのゲーム、千本引きなど、未満児さんや兄弟児さんなど年齢に関わらず楽しめるものを取り入れ、特にゲームコーナーを充実させました。



卒園児さんも来てくださり、元気に成長した姿を見ることができて嬉しかったです。お子さんに基平を着せて来てくださったご家庭もあり、楽しみにしてくれたのかなと感じられました。保護者の方から「子ども達が楽しんでいる様子を見ることできた」「機会を作ってもらえてよかった」とお言葉をいただき、感染対策に配慮した上で開催することができてよかったです。



みらいく高田



計画では夕方に園庭でお祭り会場を設置し、保護者の方にもご参加いただく予定でしたが、当日に雷雨の予報が出たことで残念ながら中止となってしまいました。その分、夕方に計画していた遊びを日中の子ども達の活動の時間に取り入れられました。当日は朝から夏祭りの装飾をしており、子ども達が装飾を見た瞬間からわくわくしている様子を感じ取れました。0歳児保育室のテラスで水鉄砲によるアンパンマンの的当て、1歳児保育室の前でヨーヨー釣りなど、クラス別に順番にまわって楽しみました。的当ての景品でお菓子をもらえたり、ヨーヨー釣りを全身で楽しんでびしょびしょになったり、2歳児さんは手作りの御神輿を背負い「わっしょい！」と持ち上げたりと、たくさん楽しんでくれました。



夕方のお迎えの際には、玄関にアンパンマンの自動販売機（製作物）を設置し、手作りのアンパンマンのコインを入れると本物のジュースが出てくる☆というちょっとした楽しみを親子で楽しんでいただき、また、お迎えと重ならない時間に卒園児さんにも会うことができ、久しぶりにお顔を見ることができて嬉しかったです。保護者参加は中止となりましたが、計画していた遊びをすることができ、子ども達が楽しんでくれたことがよかったです。コロナ禍で難しい中ではありますが、「何もできない」となるのではなく、感染症対策をしっかり行い色々工夫をしながら、子ども達が楽しめる機会をつくっていききたいです。

みらいく県町



県町園では初めてとなる、保護者の方にご参加いただく行事となりました。人数制限や消毒などの感染対策を徹底した上で開催しました。コロナ禍で、保護者の方には保育室に入ることを控えていただいていたため、保育室の中に入ること自体が久しぶりとなりました。この日はいつもより少し早い時間にお迎えに来ていただき、15時45分から開始しました。



保育室内にゲームを出し、的当て、魚釣り、千本引き、お面屋さん、たこ焼き屋さん（親子製作）を親子で一緒にまわっていただきました。大人がイメージする夏祭りではなく「子どもが楽しんでくれる」内容をメインに考えて、未満児さんにとって難しすぎず、簡単に遊べるようなものを取り入れました。当日までの雰囲気作りとして、事前に保育室内に提灯を飾ったり、盆踊りの音楽を流したり、少しずつ取り入れていました。ゲームは当日に目一杯楽しめるよう、あえて夏祭り当日に初めて触れるようにしました。夏祭り会場（保育室）に入った瞬間から子ども達の表情がキラキラに！いつもとは違う遊びをたくさん楽しんでいました。保護者の方も楽しそうな様子があり、親子で一緒に楽しんでいる様子が伝わってきました。また、ソーシャルディスタンスを保ちながらも、保護者の方向士がお話しできる機会となりました。限られた中でも工夫をすることで、簡素な内容では終わらず、子どもも保護者の方と一緒に楽しめる行事となったことがよかったです。

みらいく早苗町



早苗町園の夏祭りは午前の活動の時間に行いました。保育室には、お化けBOX（カラーボールの的当て&玉入れ）、お化け屋敷、金魚すくい、ボーリング、園外にはヨーヨー釣り、様々な種類のゲームを設置しました。危険箇所や各出入口には職員を配置し、安全面に注意しながら、子ども達が好きなところに行けるようにしました。特に人気だったゲームはお化け屋敷と金魚すくいでした。暗幕ですす暗くなったお化け屋敷、中は幕によって2つに区切られており、入ってすぐはやさしめのお化け、奥はお化け風船がぶら下がっている難易度高めの環境でしたが、意外と怖がる子は少なく、手作りの懐中電灯を喜んで持ち、暗闇の中へ冒険に行く感じで楽しんでくれました。金魚すくいは、色々な魚やキャラクターを2歳児さんは釣り竿で、0・1歳児さんは先端に磁石がついた棒で釣って遊びました。一番大きいワニを釣るために、みんなで協力していた姿が可愛かったです。



遊んだ後は、本物のスイカでスイカ割りを行いました。「おもい、つめたらい」と触った後、1人ずつ順番にチャレンジしました。給食のデザートでも、夏祭り仕様の容器に入ったスイカが提供され、子ども達はとても喜んでいました。遊ぶ時間は50分を予定していましたが、子ども達が思った以上に遊び込んでくれてびびり！おまけで5分延長して遊びました。準備するものがたくさんありましたが、昨年度のものともうまく組み合わせながら、盛りだくさんな夏祭りでした。

夜の保育園みらいく



夜の保育園の夏祭りは、感染対策に十分気を付けて、おはじまりから保護者の方にご参加いただきました。オープニングは盆踊り。子ども達はアンパンマンのキャラクターのお面、先生達は動物のお面を着け、ソーシャルディスタンスを保ちながら「アンパンマン音頭」を輪になって踊りました。



遊びコーナーは、風鈴作り、魚釣り、こいのぼりトンネル（春に子ども達と一緒に制作した大きなこいのぼり）、みらいく水族館（好きな魚に好きなシールを貼って模様をつける）、ボンボン釣り、お化け屋敷を設置しました。月齢に応じて、女の子達はみらいく水族館や風鈴作り、男の子達はこいのぼりトンネルやボンボン釣りを特に喜んでいました。昨年のおばけ屋敷では涙が見られた子が今年は泣かなくなりました。子ども達の色々な姿が見られました。遊びの後は本物のスイカでスイカ割り。まん丸のスイカを普段あまり見ないので、子ども達は興味津々な様子でした。最後は割れたスイカと一緒に記念撮影をしました。どのようにしたら保護者の方が安全に参加していただけるかをよく検討しました。例えば、保護者の方と一緒にご飯を食べる予定を、お持ち帰りいただくかたちに変更しましたが、給食の先生のメッセージを添えるなど、対策はしながらも細部の工夫をみんでよく考えました。行事の開催が難しい世の状況ですが、子ども達が「いつもとは違う特別な楽しい時間」を過ごせるように、そして子ども達の良い経験となれるように、今後も工夫をしていきたいと思います。